

令和8年度 経営発達支援事業 地域経済動向調査

RESASによる 富津市地域経済動向の分析

令和8年10月発行
発行：富津市商工会
〒293-0012 千葉県富津市青木1573-1
TEL：0439-87-7071
FAX：0439-87-4685
URL：<https://futtu-city.or.jp/>

目次

RESASの4つのマップを使って、富津市の現状と課題を整理します

1

RESASとは

地域経済分析システムの概要

2

人口マップ

人口推移・年齢構成・人の流れ

3

産業構造マップ

企業数・従業者数・労働生産性

4

地域経済循環マップ

経済の自立度と産業構成

5

観光マップ

宿泊者の居住地と滞在日数

6

総括

現状のまとめと今後の課題

① RESASとは

RESAS（地域経済分析システム）

官民のビッグデータを地図・グラフで見える化。2026年6月にも大型アップデート

産業構造・人口動態・人の流れなどの官民データを可視化する政府提供のシステムです。客観的なデータに基づき、自らの地域の現状と課題を把握し、その特性に即した地域課題を抽出して、地方自治体や企業などが制作立案や経営戦略に活用することができます。



本資料で使うマップ

- 1 人口マップ 人口推移・人の流れ
- 2 産業構造マップ 企業数・労働生産性
- 3 地域経済循環マップ 所得・支出の循環
- 4 観光マップ 宿泊者・消費の動向

② 人口マップ

人口推移：2050年に約4割減

2025年1月は40,427人（前年比－692人）。2050年には約6割へ縮小の見込み

42,465人

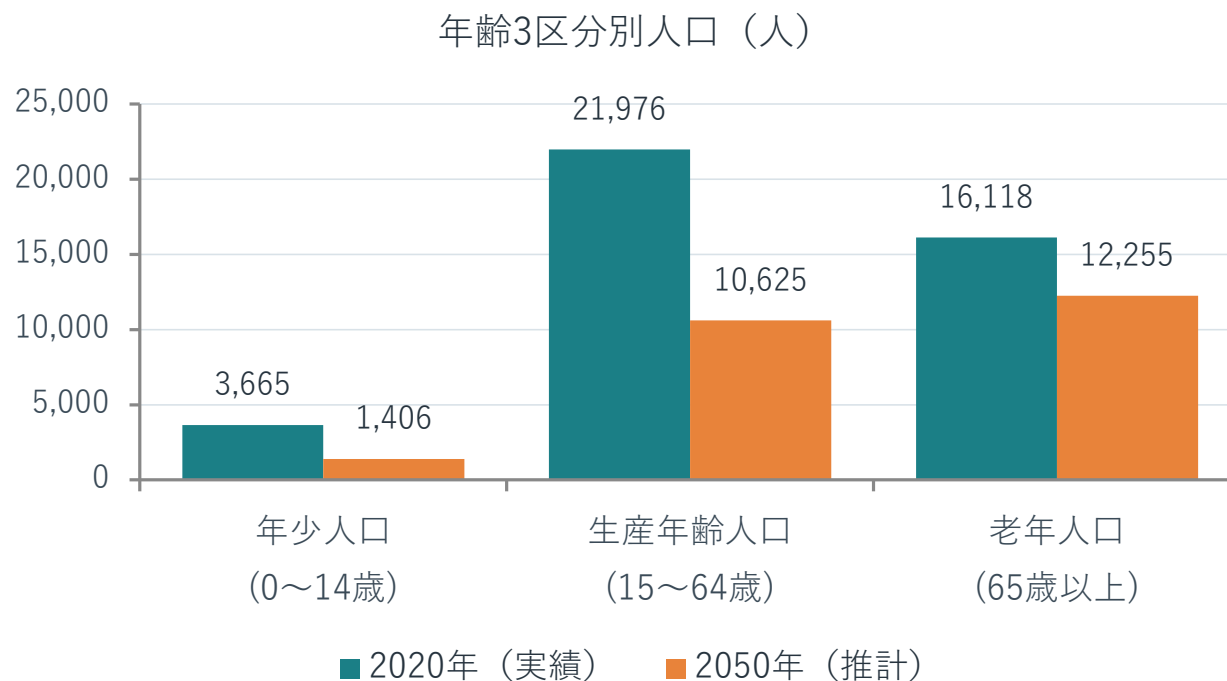
2020年の人口（国勢調査）

40,427人

2025年1月1日（住民基本台帳・参考）

24,286人

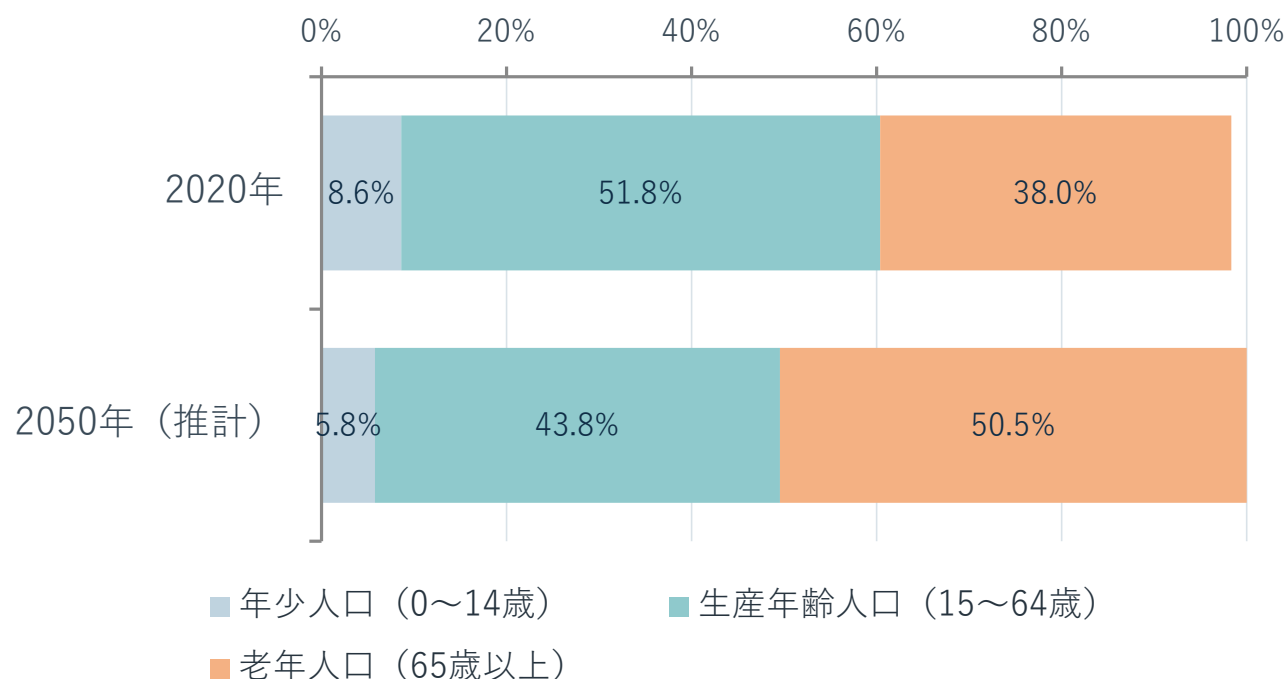
2050年の推計人口（－42.8%）



② 人口マップ

高齢化率は50%を超える見通し

2050年には総人口の約半分以上が65歳以上になると推計されている



37.96% → 50.46%

老年人口割合 (2020年→2050年)

39.8%

2025年1月の高齢化率 (住基・参考)

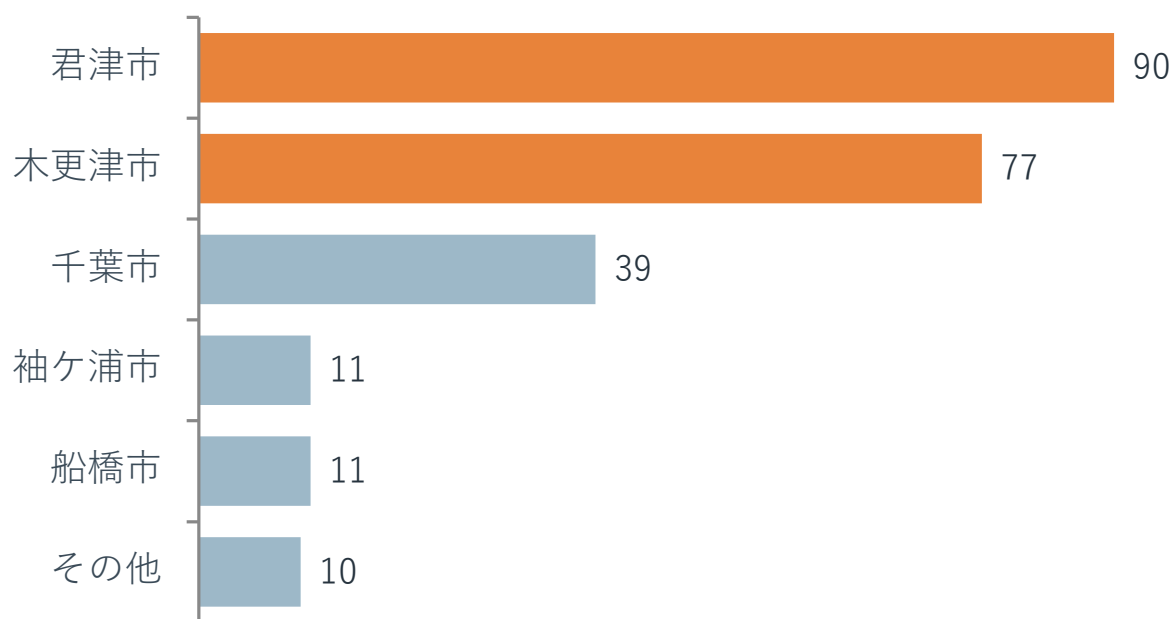
老年人口は2025年をピークに減少に転じる見込みですが、年少・生産年齢人口の減少が大きく、高齢化率は上昇し続けます。

② 人口マップ

人の流れ：近隣市への転出が多い

転入は特定地域に偏らない一方、転出は君津市・木更津市で約7割を占める

転出超過数の内訳（2023年・計238人）



70.17%

君津市・木更津市への転出（転出超過数に占める割合）

11.11%

転入超過数のうち横浜市・市原市の合計。決まった地域からの転入が多いとは言えない（計180人）

② 人口マップ

昼夜間人口：日中は近隣市へ流出

昼夜間人口比率は94.23%。通勤・通学で君津市・木更津市などへ人が出ていく

36,560人

昼間人口（2020年）

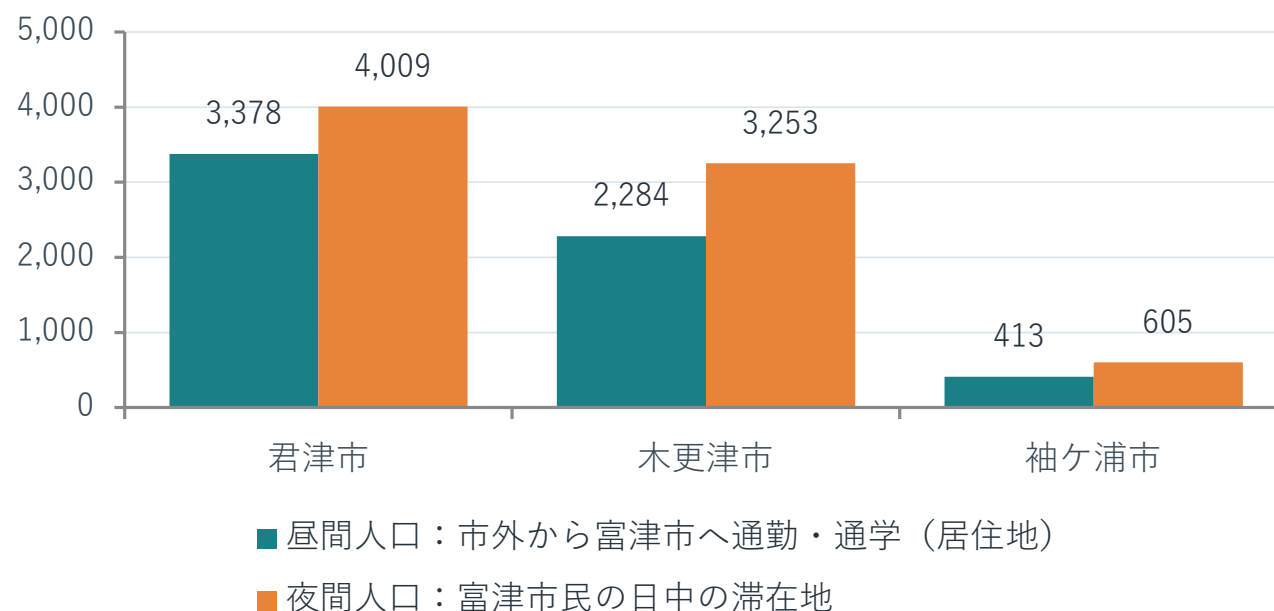
38,800人

夜間人口（2020年）

94.23%

昼夜間人口比率

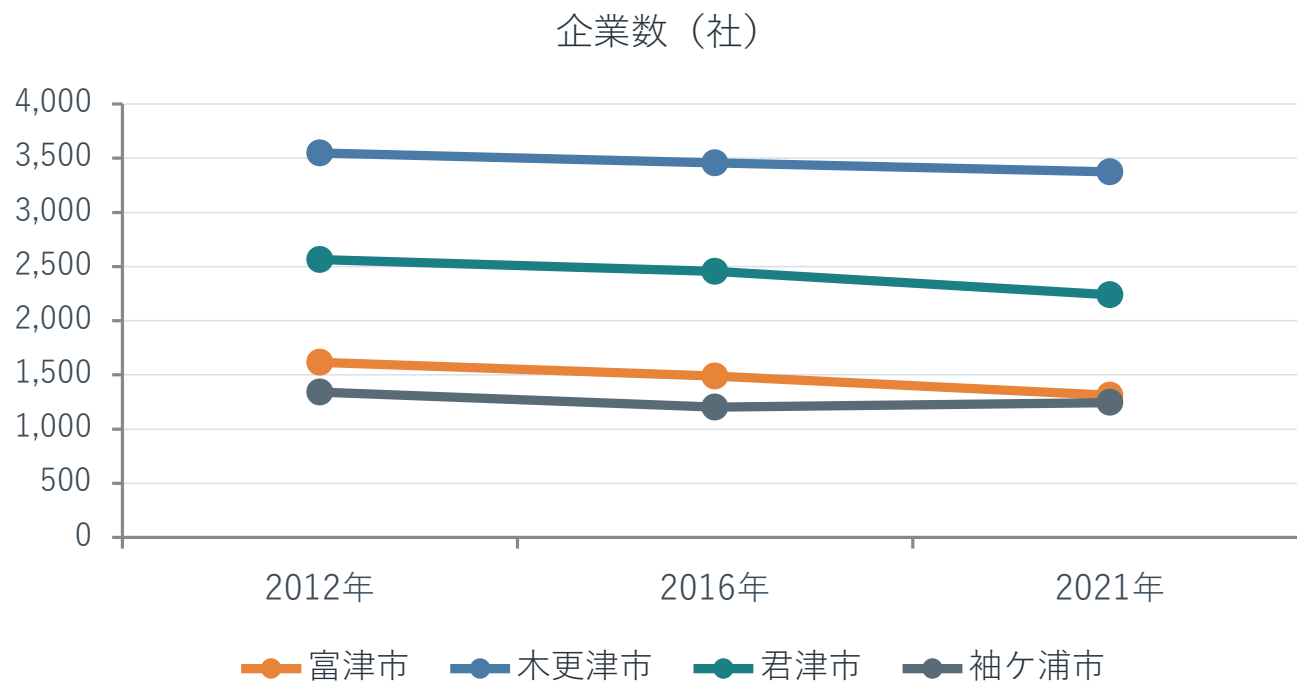
近隣市との人の行き来（人）



③ 産業構造マップ

企業数：減少が続く

富津市は2012年から約19%減少。袖ヶ浦市のみ2021年に増加に転じた



1,615 → 1,311

富津市の企業数（社・2012→2021年）

－18.8%

富津市の増減率

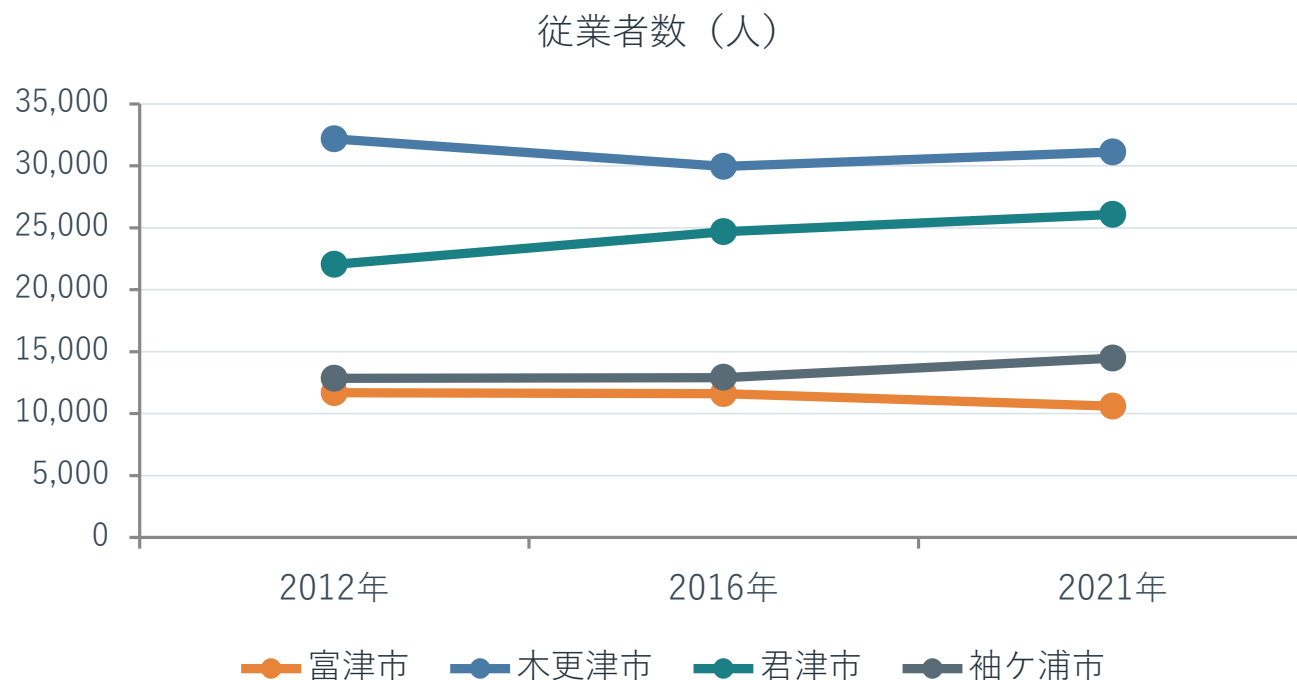
袖ヶ浦市は増加

2016年1,203社→2021年1,245社

③ 産業構造マップ

従業者数：近隣で唯一減少

2021年に従業者数が減少しているのは4市のうち富津市だけ



11,671 → 10,606

富津市の従業者数（人・
2012→2021年）

-9.1%

富津市の増減率

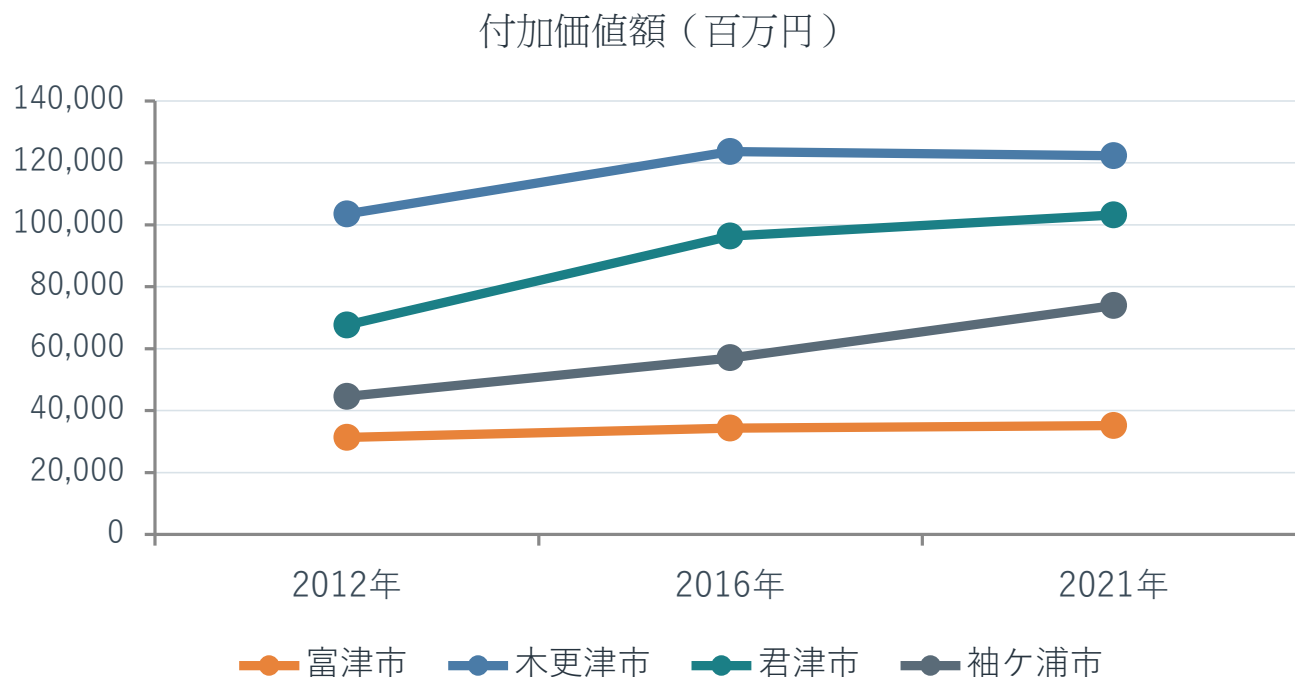
君津市 +18.4%

袖ヶ浦市 +12.9%（2012→2021年）

③ 産業構造マップ

付加価値額：微増だが伸びは緩やか

増加はしているものの、近隣3市と比べて伸びが小さい



31,300 → 35,160

富津市（百万円・2012→2021年）

+12.3%

富津市の増加率

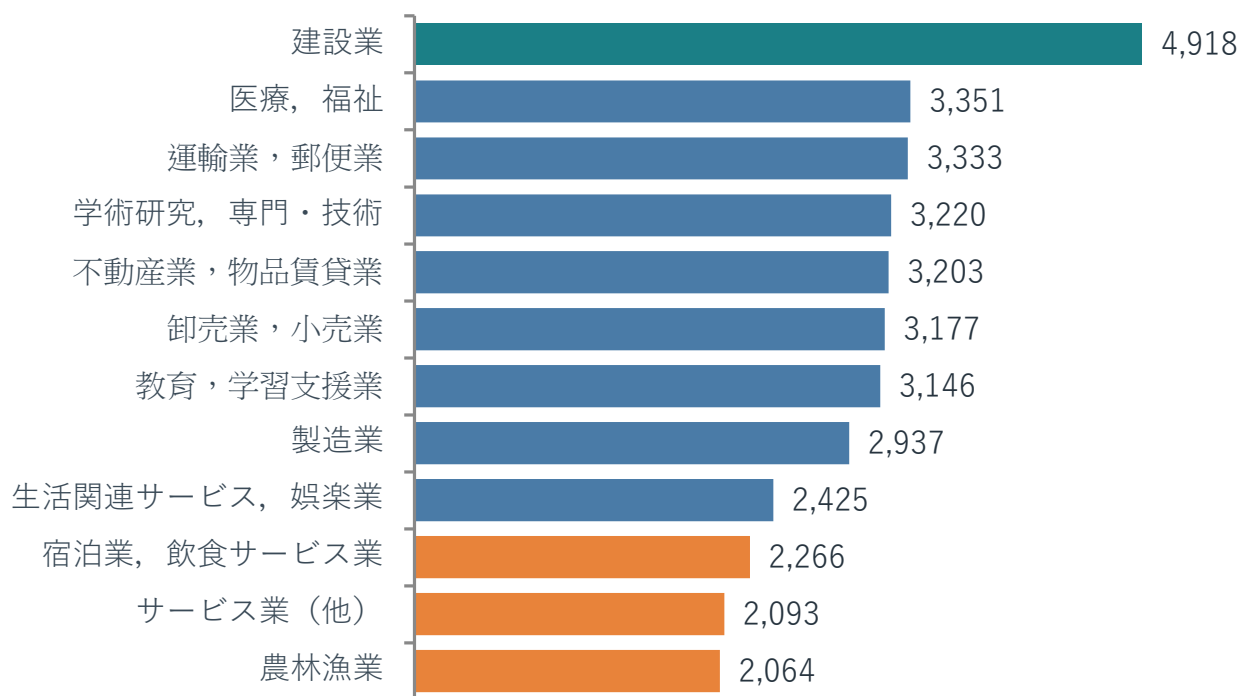
袖ヶ浦市 +66.0%

君津市 +52.6% / 木更津市 +18.1%

③ 産業構造マップ

労働生産性は全国平均を下回る

富津市の平均は3,355千円/人。建設業・医療福祉が高く、宿泊・飲食、サービス、農林漁業が低い



平均労働生産性 (千円/人)

6,095

全国平均

3,834

千葉県平均

3,355

富津市 (2021年)

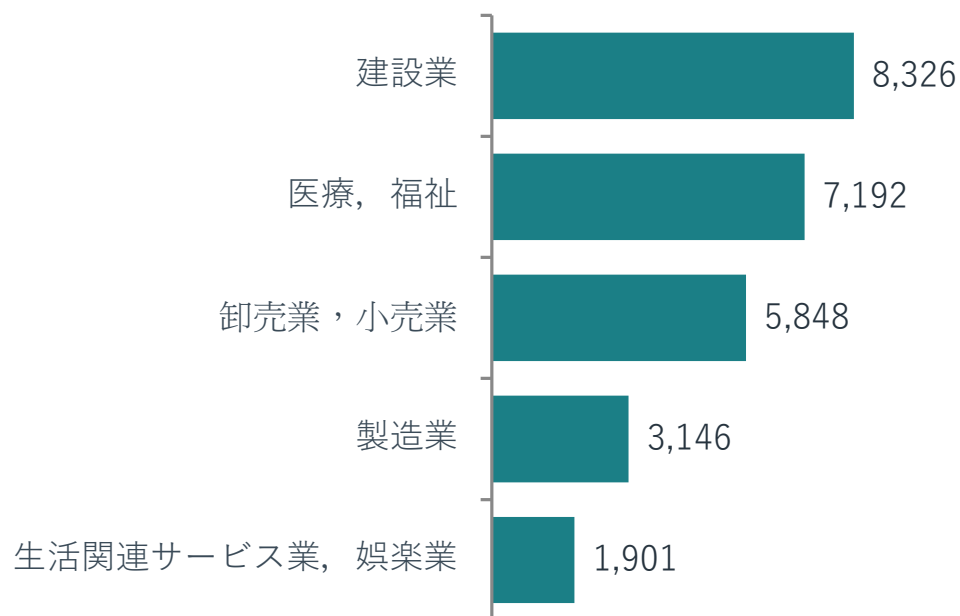
出典：総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」(2021年)。労働生産性＝付加価値額÷従業者数

③ 産業構造マップ

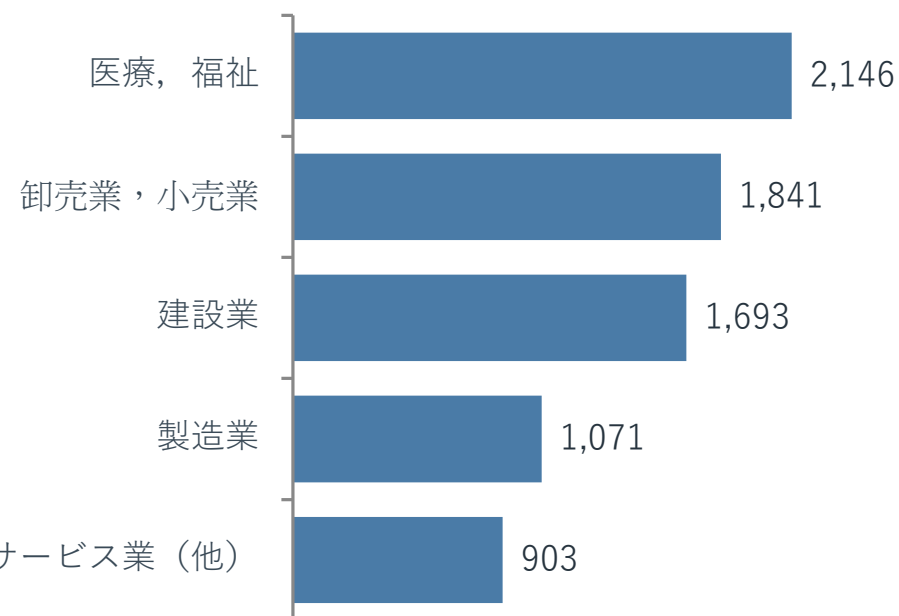
付加価値・雇用を支える主力産業

建設業・医療福祉・卸小売業が、付加価値額と雇用の中心を担っている

付加価値額 上位5産業（百万円）



従業者数 上位5産業（人）



出典：総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」（2021年）。労働生産性＝付加価値額÷従業者数

④ 地域経済循環マップ

地域経済循環率は111.9%

生産（付加価値）を分配（所得）で割った値。他地域への依存度は低く、経済の自立度が高い



生産 1,940 ÷ 分配 1,734 = 111.9% (100%超は、地域内で生み出した価値が域内所得を上回ることを示す)

④ 地域経済循環マップ

一人当たり指標と支出の流出入

第3次産業の付加価値額、民間投資・その他支出の流出入率は全国上位

指標（2018年）	富津市	全国順位
一人当たり雇用者所得	217万円	808位
一人当たりその他所得	178万円	1,392位
一人当たり付加価値額：第1次産業	337万円	518位
一人当たり付加価値額：第2次産業	1,010万円	576位
一人当たり付加価値額：第3次産業	1,107万円	111位
支出流出入率：民間消費	4.5%	669位
支出流出入率：民間投資	11.5%	255位
支出流出入率：その他支出	33.1%	236位

順位が高い項目

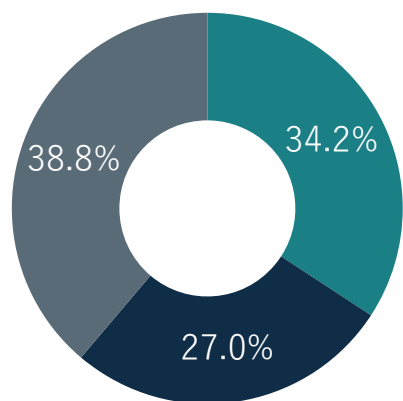
（全国約1,724市区町村中）

- 第3次産業の付加価値額：111位
- 民間投資の流出入率：255位
- その他支出の流出入率：236位

産業構成：機械・金属製品と電気業

全体の構成は全国平均に近いが、一部の産業は全国・千葉県平均を大きく上回る

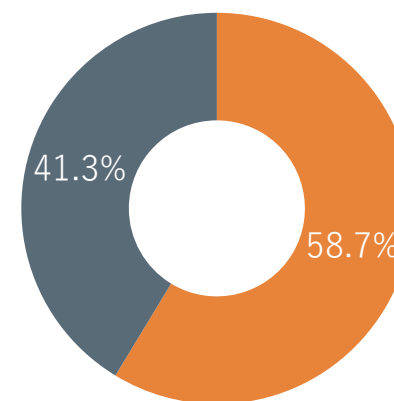
第2次産業の内訳（生産額）



■ はん用・生産用・業務用機械 ■ 金属製品 ■ その他

機械＋金属製品で61.2%、全国・千葉県平均を上回る

第3次産業の内訳（生産額）



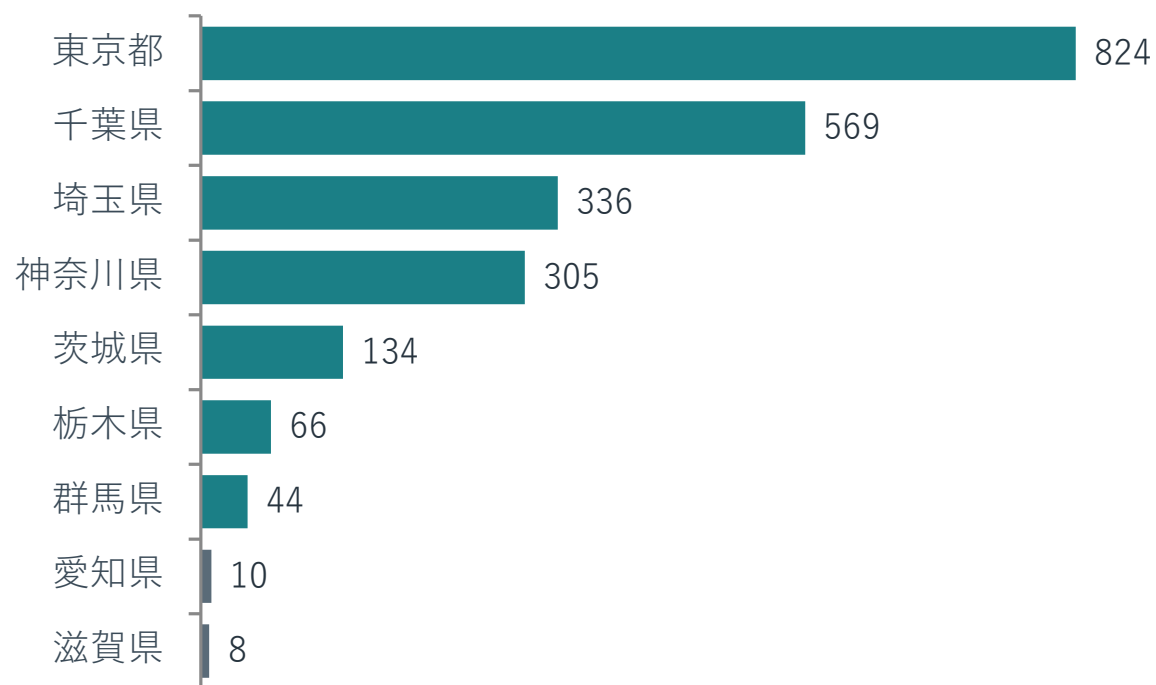
■ 電気業 ■ その他

電気業が58.7%で、全国・千葉県平均を上回る

⑤ 観光マップ

宿泊者の99%は関東1都6県から

関東圏以外からの宿泊者がほぼおらず、認知度の低さが背景にあると推測される



99.21%

関東1都6県が占める割合

2,296人

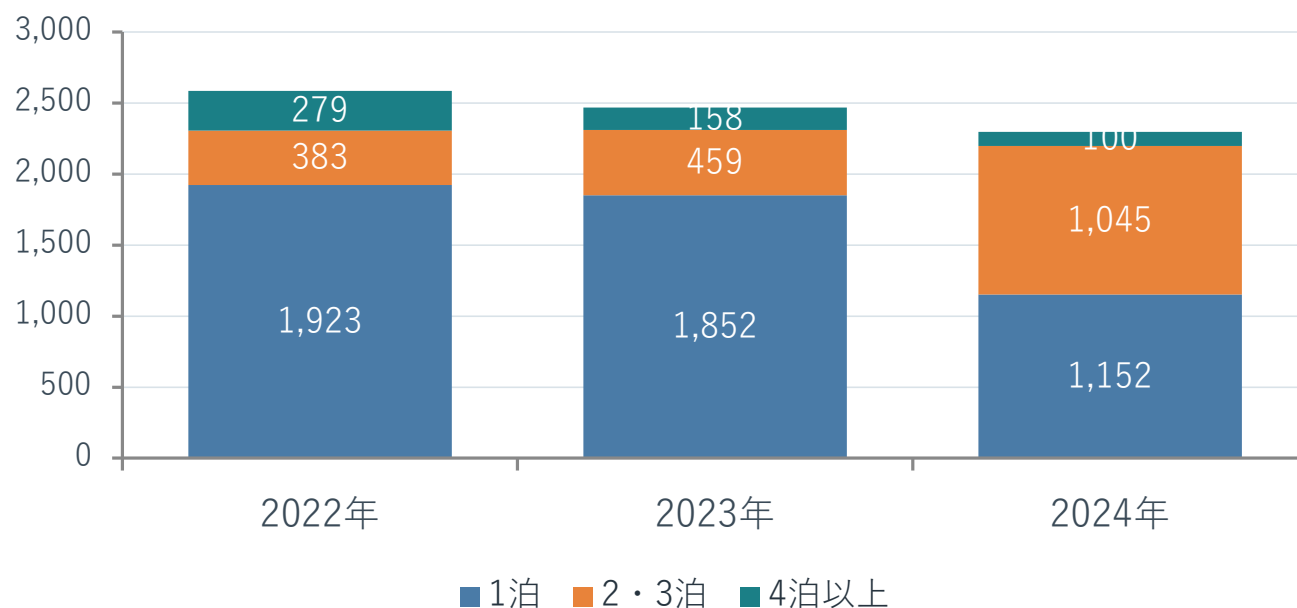
延べ宿泊者数（2024年）

⑤ 観光マップ

宿泊者は減少、2～3泊が増加

総数は減少傾向だが、2024年は2～3泊が45.4%と過去11年で最も高い割合

宿泊日数別の延べ宿泊者数（人）



45.4%

2024年の2～3泊の割合

約9,200 → 2,296

延べ宿泊者数（人・2013→2024年）

連泊したくなる魅力がある一方、関東圏外では認知度が低い可能性があります。

現状のまとめ

人口減少・生産性の低さが課題。一方で、経済の自立度と特定産業の強みがある

1 人口動態

人口は1985年以降減少し、2050年には老年人口が50%超に。近隣市への転出が多く、転入に特徴的な傾向はない。

2 産業構造

企業数・従業者数は減少。労働生産性3,355千円/人は全国平均を大きく下回る。付加価値額は微増にとどまる。

3 経済循環

循環率111.9%で自立度は高い。機械・金属製品と電気業が地域経済を支えている。

4 観光・宿泊

宿泊者の99%が関東圏で、総数は減少。ただし2～3泊の連泊は増加している。